三十日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町[illegible]十四　編輯發行人　岡田弘[illegible]
印刷所　加納活版所
發行所　石城郡平町[illegible]十五　磐城時報社
一部金弍錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
日刊（月曜、祭日）休刊

候補者木村清治氏 立候補の宣言
三十日幹部會を開き 地方有權者に配布

石城政友派の候補者は木村清治氏と決し供托金の手續きをすませ正式に立候補を宣したが愈々實戰に入るに先ち、三十日午後一時から平町石城政友クラブで最高幹部會を開き具体的に運動方法を協議し運動を開始する筈である、尚ほ候補者木村清治氏は取敢へず左の如き立候補宣言書並に依賴狀を、石城政友倶樂部會長安島重三郎氏も左の如き依賴狀を有權者全部に配布した

宣言

昨年四月大命を拜して我黨內閣を組織するや前內閣末路の失政により國權國益將に毀貽せられんとしたる對支外交に機宜を制して在支七十万同胞の危難を擁護し財界未曾有の大混亂に直面しては緩急按排以て其善處を愆らす一面在野時代より一貫せる積極進取の國策を掲げ產業立國の大方針に則りての大体を確立すると共に中央集權の積弊を打破し地方行政制度の改革或は地租委讓自作農創定等の經綸を以て徐に地方分權の根幹を培ひ內には產業貿易の發達向上を助成し外には國際精神の涵調と自主的態度とを嚴持して苟も國運の伸展と民福の增進に就いては施すべく爲すべきもの一として其の實現に努力せざるなし之れ即ち國民に清新潑溂の生氣を與ふる所以の途に外ならざるも反對黨は事每に驕激の態度を以て心事の公明正大なる我黨の政策に反對し故らに多數を恃みその施設經營を阻止するの情勢歴然として圓滿なる國務の遂行は到底之を望むべからざるに及び制限選擧棹尾の第五十四議會は奏請によつて其の解散を斷行せられ玆に吾人は光輝ある新選擧法の試練の前に信を國民に向ふに至れり惟ふに國家內外の多事多難なる今日の如きはなく隨つて現內閣の使命彌々益々その重大を加ふるは勿論翻つて之を本縣の實情に徴するも產業資源の開發教育機關の擴充、河川道路の改修、港灣の修築等數へ來れば我黨の標榜する積極進取の政策によりその解決を俟つもの極めて多し今や今秋冬の候を以て行はれる今上陛下御即位の大儀に對する七千萬同胞擧げて奉祝感激の赤誠を披攊すべき昭和戊辰に際會して明治維新の鴻謨を追憶し國運ノ轉機に善處するの要甚だ切なるを思ふの時にあたり吾が國民の政治能力を中外に表示する普通選擧は行はれる、即はち新日本の建設者たる吾人は區々たる黨派的利害の上に超越し天下の正道を履んで政策實行の一員となり我黨傳統の精神を体して憲政の有終の美を濟すに深厚の努力を致さんとする、敢て本縣第三區七萬の有權者各位に宣す。

木村清治

挨拶狀

春寒料峭の候愈々御淸勝奉賀上候陳者來る可き總選擧に方り我黨は前縣會議員木村清治氏を公認候補者として極力その當選を期する事と相成り候同君は人格崇高にして卓越せる識見を有し人民の總意を議會に映發せしむる吾人の選良たるに最も適材なるは曩に縣會議員として前後數回の試練により既に御承知の如くに有之敢て貴下の御同情にうつたへ最大多數を以て當選し邦家憲政の爲めに努力せしむる樣懇願此事に御座候

石城會長　安島重三郎

挨拶狀

粛啓光輝ある昭和戊辰の初頭に方り不肖の身を以て衆議院議員候補に推薦せられ候事洵に容外の光榮欣快とする處に有之候不肖淺學非才にして憲政史上紀念すべき普選第一次の候補者たる器に非ず省みて心中忸怩たるもの有之候へども各位の御同情により幸ひ當選の榮を得ば邦家の爲め盡瘁可致玆を以て衷情を訴へ敢て貴下の御同情にうつたふる所以に有之候

木村清治

注目の的となつてゐる 民政黨役員改選
當日比佐氏の運動方法協議 二月一日平町に開く

民政黨石城部會では過般詮衡委員十一名を出幅せしめ代議士候補者として比佐昌平氏を推したので大体に於て比佐氏が公認候補者に決定したが、石城部會では來る二月一日平町に於て總會を開き役員改選を行ひ同時に選擧運動方法を協議する筈であるから比佐氏の運動方法はその後でなければ具体的に決定せぬわけである、而して來る役員改選は野崎、若松兩幹部の反目が因をなし相當混亂に陷る模樣で、かうした事が比佐氏の運動に多大なる影響を齎すべきは明白なる事である、而も民政黨系からは比佐氏の外佐川潔氏既に出馬し軍資金も相當豊富であるといふしその活動によつて比佐氏の蒙る打撃決して少なからず。又双葉郡から名乘りをあげる山田忠正氏に對しては石城民政黨一派の人々が猛烈な運動をなす模樣である上、郡南方部から山田氏の應援を試むるものがあるといふから石城郡內の民政黨の投票爭奪は比佐、佐川、山田三氏によつて激烈な光景を演ずるであらう觀測されてゐる

佐川候補 事務所開設

代議士候補者佐川潔氏は過般正式立候補の手續を了したが愈々三十日から平町白銀町元牧原齒科醫院跡を選擧事務所として運動に着手する事になつたが、選擧事務長は當分の中鈴木昌雄氏之に當り追て正式の事務長を人選する筈である。

佐藤榮氏 佐川氏應援

草野村在郷軍人豫備少尉佐藤榮氏は中立を標榜して石城郡から立候補した志士佐川潔氏に共鳴し二十九日黨籍を脱して同氏のため奮鬪する事になつた。

比佐昌平氏 三十日來平

民政黨代議士候補者比佐昌平氏は二十九日歸郷、三十日平町に來り運動方法を協議した。

▲酒母麹鑑評會

平税務署管內酒造家の酒母、糀鑑評會は廿八日同署樓上に開かれ審査長は仙臺稅務監督局技手福島縣商工技師小池嘉之氏其任に當つたが本年は既に報じた如く縣聯合品評會が今秋平町に開かれる關係から是非共郡內酒造家に於て榮冠をかち得んと意氣込み東北の銘醸地たる秋田地方から特殊技能を有する糀師等迄招聘極力優良酒釀造に意を注ぎつゝある際とて從來の成績に比し審査結果は頗る良好成績を示した因に出品點數は酒母六十一點、糀三十七點であつたと。

養女を誘拐し 姙娠したので置去る
各地を荒し廻つた末 湯本町で豪遊中捕はる

長野縣下伊那郡龍江村大字今田當時住所不定無職木下民三（二五）は元職人であるが其業を厭ひ各地を流浪土工をなし居た處昨年一月十三日神奈川縣津久井郡與瀨町砂利販賣業福島サト養女サヨ（二四）を誘ひ出しサトの使であると稱　隣家の酒屋某方から現金五十圓を詐取し東京小石川に駈落し夫婦を氣取りでゐるうちサヨは姙娠したので無情にも之を置去りして出奔茨城縣下各炭礦を轉々し昨年八月勿來炭礦後山夫に住込んだが性怠惰で生業に從事する氣がなく附近各飲食店を荒し廻り本年一月二十八日湯本町三函料理屋にかめに登樓懐中無一文で飲酒遊興中擧動不審として平署に捕はれ取調べた處余罪十數件を自白した

▲養蠶功勞者表彰

渡邊村大字田部酒井寅次氏は二十八日郡養蠶同業組合通常總會に於て「蠶兒飼育養蠶經營及研究に深く改善の意を用ゐよく當業者に範を示し支部員の指導督勵に盡瘁し斯業改發に努め組合事業發展　寄與するところ尠からざりし功績あり」といふ理由にて組合規定に基き表彰狀に記念時計をそへて和田組合長から表彰された。

▲兩神社昇格

石城郡＊川村住吉神社及同郡湯本町溫泉神社は先年來何れも郷社より縣社へ昇格の手續中であつたが住吉神社は過般其筋より昇格の指令あり同社総代兩三名は二十六日出福縣より指命を受け尚溫泉神社に於ても近く其筋より同樣の昇格あるものとして町民一般その日の來るのを待つてゐるが右兩神社の昇格は自然今秋十月京都に於て行はせらるゝ御大典の絶好記念となるので兩町村氏子等の喜び一方ならず來るべき兩社の大祭をトし擧つて奉祝感激の赤誠を披攊すべく目下關係者間に於て寄々協議計劃中である。

印刷物は　加納活版所

十二神將 銅像建設

石城郡赤井村中島杉次、矢吹金吾、宮内富太郎、宮内金吾、羽賀善太郎の諸氏發起となり御大典記念として赤井嶽本宮後方斜面地に十二神將銅像を建設すべく奔走中であつたが旭僧正を總代とし根本村長を會長に、宮内喜作氏を副會長に、百有余名の賛助員を得ていよ／＼實行する事となり二十七日同村華藏院に總會を開き計劃を發表した、銅像は御身体十二体（御丈け三丈五寸）であゝ鑄造は平町工藤源吉氏に依賴し建設費用は五千圓で本年十一月十日除幕式を行ふ豫定である。

大谷保太郎 懲役一年

平町を中心に無盡詐欺として郡内一帯に亘り數萬圓の被害を與へた當時平町南町居住大谷保太郎（四五）は昨年末平支部にて懲役一年の言渡しを受けたので之を不服とし宮城控訴院に控訴中であつたが二十七日理由なしとして原刑により懲役一年を言渡された。

映畫界

▼恩讐の血煙

或る城下に宮大工の大和屋庄兵衛、相模屋新九郎と云ふ者があつて商賣敵で仲が惡い或る寺の五重塔の建立に當り郷士坂田八郎左衛門の膽入で庄兵衛が請負ふ事になつた、庄兵衛の娘お澤は弟子の清三と戀仲であつた。坂田の息子八之助と云ふ低腦兒がお澤に戀慕して父に迫つた、坂田は自己の威光でお澤を貰ひ受けんと申込んだが其言葉の裏には五重塔建立の成否の鍵を握つた威し文句があつた。庄兵衛は清三、お澤を可哀想に思ふて自分は死を決して折角作つた五重塔の雛形を叩き壞し其殘骸を持つて坂田の邸に斷りに行つた、坂田は立腹の余り五重塔の建立は新九郎にせしめる事にしたは勿論庄兵衛を散々の目に合はせた、庄兵衛は涙で歸途る途すがら病に苦しむ早川左門太を助けて宅に連歸り切腹し後事を清三に託して息を引取つた。庄兵衛なき後の大和屋一家は悲慘な月日を送つたが近江屋善兵衛の情に依り清三は土藏建築を請負ふた、好事魔多し近江屋のいたずら娘お糸が清三に對する横戀慕は今はお澤を女房にしてゐる清三として受入れる事が出來ないので斷つたので近江屋も仕事を斷つた、早川左門太は清三一家の此の頃の境遇、庄兵衛の恩顧等を考へ遂に死を以て彼等を救はんと覺悟して雨の降りしきる暗夜に乘じ新九郎を手始めに坂田父子に至るまで刄の錆にして了つた。其嫌疑は清三にかゝつた、清三は無言で引かれて左門太に代らんとしたが途中左門太が遺書を殘し自刄してゐるのを發見され清三の無實は晴れた。其後清三の手に依り五重塔は見事に建立されたのであつた。（平館）

牛豚肉大投賣

牛　中肉　百匁　金三十錢
上　肉　同　金五十錢
ロース　同　金七十錢
ヒレ　同　金九十錢
豚　中肉　百匁　金三十錢
ロース　同　金六十錢

食肉の廉賣王　平町停車場前（平劇場入口）　深谷牛肉店　電話五二四番

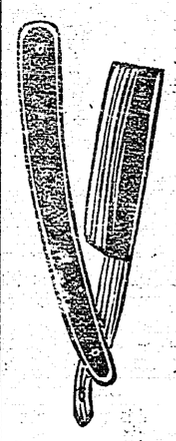
カキ貝　料理の王
料理　一の井
電話一六七番

男女首ヨリ上ノ化粧品ト器具
理髮用ポマード
アレ止メ、御白粉下クリーム
フケ取リ香水
ハカリ賣り
白衣モ色々有リマス
バリカンハ芳香園印
舶來獨逸製ソリンゲン
レーザ英國製ベンガール
舶來大小鏡色々有リマス
銀引修繕モ安價デ出來マス
是非一度御來店願升
平警察署前
芳香園理髮器具店

家庭の溫泉　別府溫泉　湯之花
本品は天然純粹の礦粉にして、リウマチス、神經痛、貧血症、神經衰弱、子宮內膜炎、痔疾、田虫、水虫等に効あり、其の他健者溫浴すれば心身爽快ならしむ。
特約店　平町一丁目　電話六四二　大平屋藥店

電話賣物あり
姓名在社　御照會は磐城時報社
電話五〇二番・四〇九番に願ひます

印刷物の御用は……加納活版所



營業報告

株式會社磐城實業銀行

昭和二年十二月卅一日現在

貸借對照表

資產之部

拂込未濟資本金	五二、〇〇〇、〇〇〇
諸貸付金	九二六、〇七六、九五〇
他店へ貸	二九〇、八一〇
有價證券	六、六七一、二〇〇
營業用什器並ニ所有不動產	三三、八一八、五五五
假拂金	一、一〇〇、〇〇〇
現金及預金	一八、六〇三、五一〇
合計	一、〇三七、五六一、〇二五

負債之部

資本金	三〇〇、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金	二五、四〇〇、〇〇〇
諸預金	一九五、八七〇、三五〇
コールマネー及借入金	五〇二、一八三、七一〇
他店借	一八二、四九〇
未拂利息未拂配當金並ニ未經過割引料	一、八三五、三〇〇
第三種所得稅並ニ資本利子稅	二四六、九一〇
合計	一、〇三七、五六一、〇二五

利益金處分

當期純益金	二、八四二、二六〇
之レヲ處分スルコト左ノ如シ	
法定準備金	一、五〇〇、〇〇〇
賞與金	九〇〇、〇〇〇
配當金（年七分）	八、六八〇、〇〇〇
後期繰越金	七六、二三六、〇〇〇

右ノ通リニ候也

昭和三年一月

株式會社磐城實業銀行

取締役頭取　馬目太平
專務取締役　鈴木辰三郎
取締役　鈴木喜太郎
同　大平睦四郎
同　叶多鉾治
同　白井一郎
同　薗田嘉藏
監査役　岡田次作
同　阿部太平
同　鈴木松之丞
支配人　鈴木源藏

追而取締役、監査役全員任期滿了改選ノ結果取締役ハ馬目太平、鈴木辰三郎、鈴木喜太郎、白井一郎、大平睦四郎、岡田次作、監査役ニ阿部太平、鈴木松之丞氏就任セリ

喘息エキスの御用意はいかゞですか、どうか御坐右におきらしなく……朝夕の小發作を御豫防なさいませ……そして無病壯健におすごしなさいませ。
ゼンソクエキス定價
十五回分金壹圓參拾錢　三十回分金貳圓五拾錢
六十回分金四圓八拾錢　百回分金七圓也
平町四丁目（電話百四十四番）
特約店　小野藥舖

靴とかばん
◎御注文は特に勉强
◎既成品も豐富にあります
平町搔搥小路（役場前）
福山靴店

君はいゝ型の洋服を求められたね？誂かへ？いや君コレは例のソレ正札堂さ
平町停車場通　正札堂

直
草野染工場
金牌受領
印半天專門優秀品の証明
草野染工場　磐城平町　電話三四八番
◎徒弟入用（徒弟契約に付ては年明きに際し有利に御相談申上候）

最新滋强回春劑　ビーナス
定價　三圓五圓　拾圓廿圓
◎適應症（腦神經衰弱、ヒステリー、生殖不能、陰萎遺精、体力增進、新陳代謝等）
平町專賣所　平町五丁目角　山野邊藥局